

国防は最大の
福祉である
初代会長 高橋季義



國の支え

中井信夫元大阪府議会議長

関西防衛を支える会
(略称・関防会)

〒540-0029
大阪市中央区本町橋2-23
(第7松屋ビル)
TEL 06-4256-4868 FAX 06-4256-4869
発行人 松田 清
編集人 小野元裕
印刷所 (株)新聞印刷

第91号

(新年号)

令和6年1月1日(月)

(西暦2024年)

(皇紀2684年)

自らの国は自らで護らねば誰も助けてくれない

さて、昨年を振り返りますと新型コロナウイルス感染症も世界的に感染が治まり、我が国においては5月に5類感染症に移行するなどようやく日常の平穏な生活が戻って参りましたが、ロシアによるウクライナ侵攻は泥沼化し一向に和平への兆しは見えて参りません。そのようななか、中東のイスラエル「ガザ地区」においてハマスの大規模な越境テロ攻撃があり多数のイスラエル国民等を死亡させる事件が起き、これにイスラエルが報復攻撃を加え多くの人命が失われております。これにはレバノ



段上には日章旗(左)と旭日旗



阪神基地隊開隊71周年記念行事(左から2人目筆者)

第104回 関防会の歴史勉強会 中島サロンのご案内
(詳細は同封チラシをご覧ください)

担当 近森久主 濱野夕希子

日時 令和6年3月9日(土曜日) 16時から

講師 本名孝至氏(伊弉諾神宮宮司)

演題 「亀艦たる樋口中将の判断」

会費 6,000円(会員・未会員とも。含む懇親会代)
講話のみ:会員2,000円、未会員3,000円、学生無料

会場 錦城閣(大阪キャッスルホテル3階、TEL06-6941-2185)



右から佐藤参議院議員、堀井中部方面總監、山下顧問

さらにこの極東において中国の南沙海での覇権活動はアセアン諸国との国境紛争となりつつあり、また台湾海峡も軍事的圧力を徐々に強めております。とりわけ我が国固有の領土である尖閣諸島に対する中国海警局の領海侵入は恒常化しつつあり看過できない事態となっております。そして、北朝鮮の核保有はいまや現実となり、運搬するミ

新年のご挨拶
関西防衛を支える会
会長 松田 清

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましてはご家族共々清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は「関西防衛を支える会」の活動にご理解とご協力を賜り心よりお礼を申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

歴史は繰り返すと申しますが、国際間は「中・露」対「G7」の新冷戦時代に突入し、一触即発の事態にあるといっても過言ではありません。我が国は現憲法の下、前文で「諸国民の公正と信義を信頼し」としてありますが、ウクライナ侵略一つを捉えても国際連合が無力化しているのが現実ではないでしょうか。平和は口で唱えるだけでは掴めませんが、自らの国は自らで護らねば誰も助けてはくれないのです。それは歴史が示す厳然たる国際常識なのです。私共「関西防衛を支える会」は、ささやかな民間の自衛隊を支援するボランティア団体ではありますが、我が国の領海・領空・領土を護り、災害から国民を護る自衛隊を今後も心を一つにしてご支援して参ります。

新しい年「2024年」の皆様にとりまして幸多からん年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。



中部方面隊記念行事で初めて当会より奈良吉野の樽酒「やたがらす」を提供しました。他に3種類の樽酒が提供されていましたが、「やたがらす」が最初になくなりました

イベントのお知らせ
江田島海自幹部学校卒業式
呉基地の見学ツアー

令和6年2月6日(火)・7日(水)

江田島海自幹部学校卒業式と海自の基地で最大の呉基地の見学ツアーを行います！
普通は行くことができません。この機会にぜひご参加ください！

第27回・関西防衛を支える会 定期総会のご案内
【改めてご案内します】

日時 令和6年5月12日(日)

会場 大阪キャッスルホテル

講師 別途ご案内致します

防衛講話と懇親会もお楽しみください

歴史勉強会

中島サロン

第102回
9月30日

大阪キャッスルホテル

コロナ禍の前年、2019年6月13日に国連と世界経済フォーラムがアジェンダ2030の戦略的パートナーシップの覚書に署名しました。そして、そのアジェンダを管理するのは世界最大の資産運用会社「ブラックロック」です。

欧米の知識人達は「このことを知っています。日本のマスコミは報道しません。国連世界経済フォーラム、ブラックロック、彼らに日本は支配される時代に突入しています。」

今年9月1日に内閣感染症危機管理統括庁が発足しました。政府はこれまで厚生労働省と内閣官房に分かれていた担当部門を一元化して、感染症危機対策の司令塔組織を首相直属の常設の組織としました。

世界の支配層からの要請だと思われま。

WHOは来年5月に「パンデミック条約」の成立を目指しています。WHOの命令で、ロックダウンやワクチン強制接種が行われる日が来ても良いのでしょうか。

ブラックロックについてご紹介いたします。米国の巨大企業のほとんどにおいて、持ち株比率の上位3位までにブラックロックが入っています。CNN、FOX、ファイザー、モデルナ、VISA等の大株主です。資本家はロスチャイルド、ロックフェラー、デュポン、カーネギー、ブッシュ財団、クリントン財団、英国王室等です。

ウクライナの土地はIMFなどに買われ、その後ゼレンスキー大統領はブラックロックに売却しています。それなのに、日本の一部保守層はゼレンスキーを応援して

います。G7広島サミットで来日した理由は「復興支援」という名目での「集金」です。米国やNATO等はウクライナに武器を供給してききましたが、その何割かは転売されており、大口錬金的手段となってきました。戦争が長引いて「得」をするのは戦争を起している者たちです。それと、私はこの戦争を「ロシアのウクライナ侵攻による戦争」とは表現していません。そもそも2014年から戦争は始まっており、主戦場がウクライナで、米国とNATO対ロシアの戦いだと解析してきました。

バイデン氏が上院議員だった90年代に、「NATOの行動を全て支持する。ユーゴスラビアを破壊

トランプ大統領時代、中国との「デカップリング(切り離し)」という表現が出てきましたが、中国とG7諸国のデカップリングは無理です。中国の部品がなければ、米国は武器すら作ることができません。そこでG7広島サミット以降「デリスキング(リスク低減)」という考え方を打ち出しています。中国に最先端の半導体を生産しないようにしてきました。

さて、この3年間、世界で用いられたキーワードは「ステイホーム」「ソーシャルディスタンス」「テレワーク」「アインシュルション」です。陰謀論などではなく、陰謀は存在するのです。

ここ数年の米国の報道番組の多くはプーチンに反対しているのがプーチンのロシアです。ソ連を動かして

大転換の世界〜G7 VS 中国、日本のこれから〜

ノンフィクション作家、ジャーナリスト

河添恵子氏



くのスポンサーは、ファイザーでした。であれば、「ワクチン死」を大々的に報道する訳がありません。日本では、相撲の関脇あたりから上位の懸賞金にモデルナの旗が並んでいました。これは相撲中継をするNHKが、間接的にモデルナの宣伝をしたことになりま。

日本人のワクチン接種率は世界で85%前後です。米国は意外と少なく約40%です。これはマスメ

ディアを信じる人の割合です。マスメディアは、ディープステートの宣伝機関であり、ジャーナリズムは存在しません。

世界経済フォーラムが主催する「ダボス会議」では、世界統一政府の樹立を目指した会議が行われてきました。数年前に提唱した「グレートリセット」ですが、環境への取り組み、デジタル技術改革、貧富の差の是正と言った美しい言葉が並んでいます。彼らは、コロナ禍の恐怖を演出し、その恐怖で我々を支配しようとしてきました。並行して、気象問題や食糧危機の新たな恐怖を演出し、テックフードを我々に食べさせ、その特許で儲けようとしています。

この流れに反対しているのがプーチンのロシアです。ソ連を動かしてきたのは米国でしたが、プーチンはそれに反発し、兵器、エネルギー、食糧という3つの武器を整え、強いロシアを復活させました。近年は「LGBTの概念」を排除し、テックフードや遺伝子組み換え作物を国に入れることも禁止しています。

一方、米国のバイデン政権内部には、イエレン財務長官、プリンケン国務長官、コーヘンCIA長官、ヌーランド国務次官等、現ウクライナ周辺にルーツを持つ「ハザール系ユダヤ人」が多くいます。彼らの何世代にもわたる天敵はロシア人です。トランプ政権が続いていけば、戦争はなかったのです。ゼレンスキー大統領もハザール系ユダヤ人です。さまざまな工作をして、彼を大統領まで押し上げたのは、ハンガリー系ユダヤ人

のジョージ・ソロスです。

この20年間で米空軍とその同盟国は33万発以上の爆弾を他国に投下しています。それなのに、日本人の多くはなぜ米国による戦争は「正義」だと考えるのでしょうか。しかも、そもそも戦争に発展しないようNATO等と交渉し、ミンスク合意に取り付けたのはロシアです。ロシアは、「ウクライナにまでNATOが拡大することだけはレッドゾーン」だと交渉してきたのです。NATOの事務総長が今年3月に自ら暴露してしまいましたが、「2014年以来、戦争を始めている」「NATOはウクライナに軍事訓練をしてきた」のです。ミンスク合意を破ったのは西側であり、マスメディアとお抱え学者達はフェイクを垂れ流しています。それはプーチンのロシアは「悪」との印象操作をしたからです。なぜなら、ディープステートが目指す世界統一政府の樹立に、おいての一番の「障害」がロシアだからです。

多くの皆さんの脳は、ディープ

歴史勉強会

中島サロン

大阪キャッスルホテル

第103回
12月2日

も関係していると言われる。「少子高齢化」が進むと過疎化が進んで、シャッター通り、空き家、限界集落が増加する。中でも134兆円ほどに膨れ上がっている社会保障給付費が限界に達し、年金とか国民皆保険制度に重大な影響を及ぼすだろう。

2つ目は、「農業・食料問題」である。最近、我が国の農地面積が減り続け、一方、耕作放棄地が増えている。この傾向は即、食料自給率の低下に拍車をかける。自給率はすでにカロリーベースで38%であるが(国際比較で38位)、ほぼ輸入に頼っている化学肥料や家畜の飼料などを加味すると、現実はずっと厳しいだろう。

今後、世界人口は増加傾向にあり、ウクライナ戦争など国際情勢いかによっては食料自給が益々厳しくなることも予想され、危機意識を持つ必要がある。

3つ目は、「気候変動・エネルギー」

我が国の未来を見通す

元陸上自衛隊東北方面総監 宗像久男氏



1つ目は「少子高齢化問題」であるが、昨年の出生者数は77万人余りと過去最少、出生率も過去最低の1.26となった。このまま推移すると我が国の人口は減り続け、高齢者の割合が増える半面、生産年齢層が減って「少子高齢化」社会が現実のものになる。

出生率低迷の根本原因は、婚姻数(婚姻率)の低下にあり、「失われた30年」の間の若者世代の低給与水準や女性の社会進出などに

増加傾向にある。また、農業従事者も高齢化が進んで、年間約7万人も減少しつつある。

この傾向は即、食料自給率の低下に拍車をかける。自給率はすでにカロリーベースで38%であるが(国際比較で38位)、ほぼ輸入に頼っている化学肥料や家畜の飼料などを加味すると、現実はずっと厳しいだろう。

今後、世界人口は増加傾向にあり、ウクライナ戦争など国際情勢いかによっては食料自給が益々厳しくなることも予想され、危機意識を持つ必要がある。

3つ目は、「気候変動・エネルギー」

増加傾向の太陽光発電、風力などの再生可能エネルギーは、安全なエネルギーとして期待されている。特に我が国は、エネルギー自給率も約11%しかなく(先進国中34位)、そのほとんどを化石燃料に頼っている。

一部が安全保障上重要な土地に建設されているため、光合成によって二酸化炭素を減らす「森林を伐採して発電所を建設している。中には無理して傾斜地に建設している所もあり、台風やゲリラ豪雨による大惨事発生も懸念される。

国にとって最も重要なのは「エネルギーの安定供給」であり、それを最優先した上で「脱炭素」政策を推進すべきと考える。

他に、我が国の安全保障環境も厳しさを増し、巨大地震の発生とその防災・減災も「待ったなし」など、それぞれの専門家の警告を待つまでもなく、未来に待ち構える「現実」は厳しく、「国家の(次頁へ続く)

(前頁の続き) 未来図」を書き換えなければならぬのである。

「強靱な国家」を造る

専門家は、警告はするが具体的な対策はまず示さない。そのはずである。現在に至る閉塞感の原因を採って、個々の問題解決を官僚や専門家達に任せて、「部分最適」の政策判断の繰り返しだったことに行き当たる。

「フランス感覚をもって中長期的な視点で国家を『舵取り』する政治家にそのような視点があったのかも知れないが、政治家を選ぶのは国民である」と考えたと私達一人一人の問題なのである。

では具体的にどうするか。悩み考え抜いた結論は「強靱な国家」を造ることを目指し、「国力」そのものを考える必要があるとの認識に至った。

一般に、「国力」はハード・パワー(人口、領土、防衛力、経済力、政治力、食料・天然資源、科学技術力、教育文化力)とソフト・パワー(国

家戦略、国家意識など)の掛け算であると考えられている。

必要である。

また戦後の日本は、大多数の国民意志の集大成としての「国家意識」についても議論するに及ばず、今日に至っているが、国民が「誇り」「道徳」「愛国心」などを保持できない要因となつていよう。

天変地異や外圧がない状況下、つまり「大多数の国民の自らの意思で『国家意識』を統一して『国家戦略』をサポートすることが求められている」と考える。

さらに、これらを先導する役割を担う、ハード・パワーとソフト・パワーの両方を担うことができるリーダー(賢者の出現も待たれよう。

歴史を顧みると、「国家戦略」と呼べるようなものは、明治維新の「富国強兵・殖産興業」しかなく、戦前の「帝国国防方針」は「安全・軍事」を過度に重視し、戦後の「吉田ドクトリン」は「富(経済)しか考えていなかったことが分かる。今こそ、ハード・パワーの個々の要素に、網をかぶせるための『国家戦略』が求められているのではあるまいか。

兵どもが夢の跡

関西防衛を支える会 副会長 原田光生



幕府軍は山陽道方面(芸州)九州方面(小倉口)、四国方面(上の関口)の4方面(四境戦争とも言う)から攻め寄せた。この時山陽道方面(石州口)の長州藩指揮官が

私の友人に島根県浜田市出身の者がいる。その友人が酒を飲むと私にからんで言うのである。長州人は許せん」と。かく言う私は山口県岩国市(合併前は玖珂郡美川町河山、岩国を治めた吉川藩でなく毛利本藩)の出身である。1865年(元治7年)、江戸幕府による第2次長州征伐が行われ



大村益次郎の碑



第37連隊100周年記念碑

大村益次郎はその忠義に感動し手厚く葬っている。私の友人は「長州兵は800人以上の兵で扇原関門に押しかけ、たった一人の忠臣『岸 静江』を狙撃した。これは許がたい蛮行であり長州人は許せん」と158年前の出来事をいまだにほくろかえして言うのである。大村益次郎は1825年(文政8年)、現

その後、大村は兵どもの「夢の跡」となっている。慰霊碑には「兵部大輔大村益次郎卿殉難報國の碑」と刻まれ勉学に優れ研究熱心であった大村益次郎が本を讀んでいるシーフが掲げられている。同碑は1940年(昭和15年)11月に建てられているが、当時は支那事変が長期化しアメリカとの関係が波高し的情勢下にあった頃であり、設営起人には当時著名な大阪の財界人の他、陸海軍軍人として極東国際軍事裁判所で死刑となった東条英機、松井石根や戦後自決した杉山元、サイゴンで病死した寺内寿一、終身刑の荒木貞夫、大畑俊六や三国同盟締結時の外相松岡洋石、大島健一、陸軍中将(駐ドイツ大使であった大島浩の父)、林銑十郎(元総理・陸軍大将)らの名前が刻まれている。このような碑が彼の地にあるのはいかほどの大阪人が知っているであろうか。東京九段の靖国神社の大鳥居を潜ると大きな銅像の大村益次郎が、彰義隊が立て籠もった上野寛永寺の方角を睨んで指さしている。大村益次郎は、西郷隆盛らによる西南戦争を予言して大阪を中心とした兵制改革を行っていたというが、今の日本を取巻く国際情勢を知り、中国の軍備増強やロシアのウクライナ侵攻、そして北朝鮮の核やミサイルを中心とした軍備増長を見たととき、果たしてこの国を指さすであろうか。私は「日本よ！ かりしよ」と自国を指さし、平和ボケと日本国が行く末を案じ「ハラハラ」と涙を流しているのではないかと考えてならないのである。



感謝状贈呈式後に記念撮影



第8連隊跡

在の山口県山口市鑄銭司に村医の長男として生まれた。長じて大阪に出て尾形洪庵の適塾に学び帰郷して開業していたが黒船来航等の厳しい世相から四国宇和島藩で蘭学を学び西洋兵学などを翻訳、さらに江戸に出て幕府の講武所教授となり長州藩の要請により長州藩士となって帰国後は藩の「明倫館」で西洋兵学を教え、長州藩の近代軍建設の責任者となっている。幕府による第2次長州征伐の四境戦争では農民、町人階級からなる市民軍を組織し藩の統制下に組み入れ自らは石州口の戦いの指揮官としてこれを勝利に導いた。明治維新後は新政府の軍の要職に就き上野寛永寺に立てこもった幕府彰義隊(3,000人)を僅か一日で鎮圧しているが、その軍議で薩摩の海江田信義と対立しその遺恨が大村暗殺に繋がったと言われている。

陸上自衛隊中部方面創隊63周年記念行事 10月8日の陸上自衛隊中部方面創隊63周年記念行事は、今年度で任務を終える74式戦車(キャタピラの戦車)と前後に自由自在に動けるタイヤの16式機動戦闘車がグラウンド狭しと走行した後、最後に掘井総監に向かい静かに74式戦車を下げてお辞儀をする仕草に感動しました。(喜連川昌子)



16式機動戦闘車が走行

松田会長が森下陸上幕僚長から感謝状



陸上幕僚長感謝状贈呈式 森下陸上幕僚長(左)と松田会長夫人

11月18日、防衛省(東京都新宿区西谷本村町5)で松田会長が森下陸上幕僚長から感謝状を授与されました。



懇親会で名刺交換する松田会長夫人(中央)

その後武道館で行われた自衛隊音楽まつりでの素晴らしい音楽演奏などを鑑賞し、自衛隊への協力気風を向上する行事参加となりました。(近藤久主)



2度目の感謝状

長野研修旅行

松代象山地下壕見学・松本駐屯地訪問

1日目

10月22日、朝の大阪は少し肌寒く秋らしい気配のなか、7時30分過ぎに関防会員総勢32人を乗せたバスが一路長野に向けて出発しました。

「長野の松代に先の戦争末期に本土決戦となった場合にその場は収まったのですが、そのことを考えて大本営や政府機能の移転、天皇陛下も御移りいただくために造られた松代大本営という施設があるのを知っていますか」

今回の研修旅行は雑談の一言が全ての始まりでした。当然のごとくその場にいた人は当然誰も知らず、その場は収まったのですが、そのことを考えて大本営や政府機能の移転、天皇陛下も御移りいただくために造られた松代大本営という施設があるのを知っていますか」



陸上自衛隊松本駐屯地で記念撮影



松代象山地下壕の地図



殉職された自衛官を慰霊(松本駐屯地)



地下壕内部



地下壕の入口



資料館 戦前の制服や手紙がたくさん(松本駐屯地)



中庭(松本駐屯地)



駐屯地の概要説明(松本駐屯地)

研修旅行の行き先を決めている際に、北海道、山口、呉などいろいろ候補地がある中、メンバーのひとりと言った「松代大本営はどうでしょうか」の声に、再度近森さんが施設の説明をしたところ、旧軍の遺構に詳しい面々です。知らなかつたというので、ぜひそこに行ってみようとなつたのでした。

「松代なら松本駐屯地とセットで行きましょう。決まれば私から先方に連絡を入れますよ」となると、とんとん拍子で進んでいきました。

バスは数回の途中休憩を挟んで、長野県に入る左側に木曾山脈、右側に南アルプスと関西では決して見ることのできない雄大な景色に見とれていると目的地に到着。約8時間のバス旅でしたが意外と早く着いたようないなせいで、現地ガイドさんの案内で

いよいよ松代象山地下壕の見学です(こちらは政府機能が入る予定であった地下壕。皇居と大本営は近くにあり、松代象山地下壕に入る予定はなかったようです)。

昭和19年11月から20年8月15日の終戦までの間に毎日1万人以上の作業員がダンプと手作業で作業した約10km(象山地下壕は5.8km)が出来上がっていました。

短期間にこれだけのものを造った事に驚くとともに、この施設が使われる事無く済んだことに心から良かったと思いつつ、松代象山地下壕を後にしました。

その後、ホテル近くの居酒屋にて宴会が行われ、大いに盛り上がったのは言うまでもなく、長野の秋の夜は更けていくのでした。

(加藤智久)

帰りはほんのりとした秋の空が、信州の山を背景に真っ赤なりんごを見ていると気分が高揚するのだから、さすがは山国にある駐屯地、駐屯する第13普通科連隊は精強山岳部隊として有名とのこと。2014年の御嶽山噴火の時には大活躍されたそうです。そのときの状態は、火山灰が山の至る所に降り積もり、訓練された自衛隊でなければ歩行すら困難だったとのこと。ヘリコプターが着地してしまつて、火山灰に機体の脚が食い込んでしまつたため、乗り降りの際もホバリング状態を保つたそうです。高度な操縦技術が必要だったことでした。

そのような環境の中で登山客の方々の救助作業にあたられた松本駐屯地の皆様へ感謝と敬意の念を抱きました。

私たちの日頃の行いが良いのか、2日目は長野の空は見事に晴れ渡りました。朝食後バスで陸上自衛隊松本駐屯地に向かいました。

さすがは山国にある駐屯地、駐屯する第13普通科連隊は精強山岳部隊として有名とのこと。2014年の御嶽山噴火の時には大活躍されたそうです。そのときの状態は、火山灰が山の至る所に降り積もり、訓練された自衛隊でなければ歩行すら困難だったとのこと。ヘリコプターが着地してしまつて、火山灰に機体の脚が食い込んでしまつたため、乗り降りの際もホバリング状態を保つたそうです。高度な操縦技術が必要だったことでした。

そのような環境の中で登山客の方々の救助作業にあたられた松本駐屯地の皆様へ感謝と敬意の念を抱きました。

お悔やみ申し上げます

北島 一憲氏
森 實氏
梶川 勝平氏

11月17日秋晴れの日、新井副会長、濱野副会長、事務局長の菊池の3人で海上自衛隊呉総監部を敬愛訪問いたしました。呉基地は遠方ですが、近畿地方の海も守っています。

二川総監(右から2人目)を囲んで

レンガ造りの威厳ある総監部で、二川総監と喜田幕僚長がお迎えくださり、和やかな雰囲気の中活動状況をお聞きしました。前日からの総監も訓練をされていたため、珍しく作業用の制服をお召ししました。その後は戦中電話交換室があった部屋等をご案内いただき、大和ミュージアムを見学し、充実した日となりました。(菊池哲也)



秋晴れの日、海自呉総監部を訪問

戦艦大和慰霊塔修繕募金に感謝

第90号國の支えに同封しましたこの募金、10月29日をもって終了いたしました。1億8000万円の目標額に対し、12,309,785円が集まりました。

関防会と致しましては、第102回中島サロン開催会場におきまして、有志の皆様より59,000円もの御志を頂戴しまして、募金いたしました。

QRコードより募金頂きました会員の皆様、誠に有難うございました。

海上自衛隊練習艦隊 歓迎の夕べ参加者募集

日時：3月19日火曜日
場所：シェラトン都ホテル大阪
会費：12,000円

参加希望者は水交会宮崎会長までご連絡下さい。TEL090-3191-1915

今津駐屯地

今津駐屯地の歴史と部隊

今津駐屯地は、令和5年度に創立71周年を迎え、令和5年9月3日(日)には創立記念行事が挙行されました。

今津駐屯地に駐屯する部隊は、第3偵察戦闘大隊、第10戦車大隊、中部方面移動監視隊、中部方面無人偵察機隊などがあり、それぞれの任務に日々励んでいます。

今回は、令和4年度末に新編された第3偵察戦闘大隊と令和5年度末で廃止予定の第10戦車大隊を紹介いたします。

第3偵察戦闘大隊は、近畿2府4県を主に活動する第3師団管轄の部隊です。令和4年度に廃止された第3戦車大隊と第3偵察隊の2つの部隊の特性を合わせており、その装備には、火力と機動力を併せ持った16式機動戦闘車や87式偵察警戒車をはじめ、軽

部隊のシンボルマークは、打撃及び対機甲戦闘を主任務としています。

部隊のシンボルマークは、今津駐屯地が所在する滋賀県の象徴である琵琶湖と、第10師団司令部が駐屯する愛知県の象徴である名古屋城の金の「しやちほこ」をモチーフにしており、砲塔側面に描かれる「しやちほこ」マークは隊員のみならず様々な人びとからも親しまれています。

続いて、第10戦車大隊は、東海北陸6県を主に活動する第10師団管轄の部隊です。

昭和37年に今津駐屯地において編成され、編成当初は米軍より供与されたM24軽戦車を装備し、戦後初の国産戦車である61式戦車を

第10戦車大隊は、第13戦車中隊(日本原)とともに中部方面隊最後の戦車部隊としてその鎧を飾っています。



第3偵察戦闘大隊が保有する16式機動戦闘車初の訓練展示お披露目



第10戦車大隊が保有する74式戦車 第10師団創立記念行事 戦車ドリル

舞鶴海軍墓地戦没者合同慰霊祭



中央・浅尾副会長 兼北部支部長

10月14日、浅尾副会長兼北部支部長とともに第35回舞鶴海軍墓地戦没者合同慰霊祭に参列しました。

当日は舞鶴地方総監である下津一海将はじめ多くの自衛隊関係者や鴨田秋津舞鶴市長、関係団体の代表者総勢100人以上のご臨席のもと、厳かに執り行われました。

追悼の辞、弔銃発射、献花、奉納演奏と続くなか、戦没された方々に感謝と哀悼の誠を寄せることができました。(加藤智久)

高野山で慰霊祭



伴う意見交換を行いました。

殉職者を慰霊

9月10日、高野山において空挺同士会が実施した慰霊祭に参加し、さらに、火箱空挺同士会会長(元陸上幕僚長)他会の役員、自市中を参加者全員で行進

したのち、一ノ橋の慰霊碑で慰霊祭に参加し、さらに、火箱空挺同士会会長(元陸上幕僚長)他会の役員、自市中を参加者全員で行進

衛隊部長とともに会食を

(近森久主)

八尾駐屯地納涼会



信太山の狐(三浦駐屯地司令) 菊池哲也事務長の長男(中央)も参加

盆踊り・花火大会 2万7千人が集う



鮮やかに打ち上げられた花火

盆踊り・花火大会が陸上自衛隊八尾駐屯地(八尾市)で8月8日に行われ、市民ら約2万7千人が

盆踊りの音 頭は河内家菊水丸さん。軽妙なリズムに合わせて老若男女が踊っていました。

午後8時を前にして雨が少し降り出したが、予定通り花火が打ち上げられました。迫力あ

信太山駐屯地納涼会

8月8日、コロナ禍も去り盛大に開催された信太山駐屯地納涼行事に松田会長と近森事務部長が参加しました。グラウンドに開設された屋台の行列や一面に配置されたテーブルで歓談する人びとの活気が伝わって、踊りも盛んとながら、隊員の筋肉番付や、隊舎屋上からのリベリングなどの演出で最高に会場は盛り上がりました。隊員たちの普段の顔に触れることができた行事でした。(近森久主)

顧問紹介



山下裕貴 (元陸自中部方面総監)



酒井健 (元陸自北部方面総監)



竹本恒雄 (大阪府警察第一方面本部長)



鈴木純治 (元陸自中部方面総監)



竹本三保 (元海自青森地方協力本部長)



三好榮治 (元陸自信太山駐屯地司令)



宗像久男 (元陸自東北方面総監)



大道欣孝 (大阪府警察本部交通部交通機動隊長)



長田雅恵 (元陸上自衛官)

特攻勇士 慰霊祭

10月29日、大阪護国神社「特攻勇士の像」の前で開催された特攻勇士慰霊祭に参列してきました。当日は秋晴れのもと、主催者の特攻勇士顕彰会の加賀本会長や陸上自衛隊中部方面総監部の森貴義総務部長、ご臨席のもと、藤江宮司によって厳かに執り行われました。

当会からは事務局代理の加藤とほかに小西和尙様も参列され、式典終了後には中部方面音楽隊のメンバーによる演奏会がその場にて開かれ慰霊祭に花を添えていただきました。(加藤智久)

編集 後記

一昨年の初夏に起こった前会長の突然の辞任から始まった混乱も昨年の総会にて一区切りがつき、また新型コロナウイルスの緩和措置も相まって、昨年は数年ぶりの研修旅行を開催することもでき、「新生関防会」もようやく軌道に乗ってきました。(加藤智久)

世界を見渡すと、ウクライナに続いてガザでも大規模な紛争が始まり、北朝鮮の核とミサイルの開発や中国の尖閣への領海侵犯とまだ平和な世の中が訪れる気配はありません。

そのようななか、今後とも会員の皆様とともにしっかりと自衛隊に貢献できる組織を目指してまいりますので、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

謹賀新年

新春を迎え皆様のご多幸を お祈り申し上げます



西村真悟

関西防衛を支える会 名誉会長
（株）経営センター

会長 濱野晃吉

〒542-0081 大阪市中央区南船場三丁目十一番十
心齋橋 太陽ビル
TEL(06)62245174 九〇
FAX(06)62245174 八九

関西防衛を支える会
会長

松田清

ワールド警備保障株式会社

取締役会長 原田 光生

(関防会副会長)

〒532-0011 大阪市淀川区西中島一丁目一六番一六号
TEL(06)66130416 〇六一
FAX(06)66138513 八八

関西防衛を支える会
副会長

新井信彦

関西防衛を支える会
副会長

濱野 矢代依

海星工業株式会社

取締役 浅尾 守

(関防会副会長兼北部支部長)

〒625-0020 京都府舞鶴市字小倉一六四番地
TEL(0773)651000三
FAX(0773)651000五
携帯 090-82051840七
E-mail: asao@earthoon.ne.jp

株式会社加藤均総合事務所

代表取締役社長
大阪防衛協合理事

加藤 浩輔

日本会議大阪

大阪市支部

支部長 寶 來 扶佐子

〒553-0003 大阪市福島区福島二丁目八番一號
TEL(06)64511590七
FAX(06)64511590六

大阪護国神社

宮司 藤江正鎮

〒559-0015 大阪市住之江区南加賀屋一丁目一七七
TEL(06)6681137二
FAX(06)6681137七
E-mail: info@osakagokoku.or.jp

東洋テック株式会社

代表取締役会長

田中 卓

代表取締役社長

池田 博之

五大テック株式会社

代表取締役社長

仁田 吉彦



東洋技研株式会社

代表取締役社長

樋口 武英

〒531-0072 大阪市北区豊崎四丁目12-17
TEL(06)6377-8481
FAX(06)6377-8516

株式会社Cominix

代表取締役会長

柳川 重昌

〒541-0054 大阪市中央区南本町一丁目一八—四
JRE 堺筋本町ビル
TEL(06)7663-8322
FAX(06)7663-8228

清掃と害虫駆除のエキスパート
株式会社 日本衛生公社

代表取締役 菊池 哲也
(関防会事務局長)

〒537-0013 大阪市東成区大今里南二丁目一—二

株式会社阿波彌運送部

代表取締役会長 大畑 可奈子

代表取締役社長 大畑 市朗

本社 〒537-0012 大阪市東成区大今里二丁目二番一七号
営業所 〒537-0021 大阪市東成区東中本三丁目五番一四号
TEL(06)69761073 二(代)
FAX(06)69761674 六

社団法人 大阪府隊友会 副会長

隊友会 北大阪地区支部協議会 会長
大阪地本阪東地区を支援する会副会長
関西防衛を支える会 常任理事

保口 廣幸

本は著者の分身
記憶は一代、記録は末代

自分史・社史

「著者と編集者が二人三脚で本作り」を
モットーに親身になって本作りをします。

お気軽にお電話下さい。
株式会社ドニエプル出版
八尾市山本町南 6-2-29
TEL 072-926-5134

株式会社タカセン
企画・製作・印刷

代表取締役 高田 文明

〒542-0012 大阪市中央区谷町六丁目三番一五号
谷町伊藤ビル三〇二号
TEL(06)43304104 一〇
FAX(06)43304104 一〇
携帯(090)33521964 五
E-mail: takasada@takasen.com

大衛株式会社

取締役会長 加藤 光司

〒534-0021 大阪市都島区都島本通二丁目一—一六
TEL(06)69241049 五
FAX(06)69241945 〇

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

令和6年度自衛官等採用案内(案)のお知らせ

種 目※		資 格※	受付期間※
幹部候補生	一 般	【大卒試験】22歳以上26歳未満の者(20歳以上22歳未満の者は大卒(見込含)、修士課程修了者等(見込含)は28歳未満の者)	3月1日~4月12日(予定) 4月24日~6月13日(予定) (8月26日~9月26日)(予定)
		【院卒試験】20歳以上28歳未満の修士課程修了者等(見込含)	3月1日~4月12日(予定)
	歯科・薬剤科	20歳以上30歳未満の者(薬剤科は20歳以上28歳未満の者※2)	3月1日~4月12日(予定) 4月24日~6月13日(予定)
医科・歯科幹部		医師・歯科医師の免許取得者	2月1日~6月6日(予定) 7月30日~10月24日(予定)
キャリア採用幹部(陸・海・空)※		大卒以上の者で応募資格に定められた学部・専攻学科等を卒業後、2年以上の業務経験のある者	3月1日~5月17日(予定) 8月1日~10月11日(予定)※
技術陸曹・技術海曹・技術空曹		20歳以上の者で国家免許資格取得者等	3月1日~5月17日(予定)
航空学生		海:18歳以上23歳未満の者(高卒者(見込含)又は高専3年次修了者(見込含)) 空:18歳以上21歳未満の者(高卒者(見込含)又は高専3年次修了者(見込含))	7月1日~9月5日(予定)
一般曹候補生		18歳以上33歳未満の者 (32歳の者は、採用予定月の末日現在、33歳に達していない者)	3月1日~5月7日(予定) 7月1日~9月3日(予定) (10月1日~11月28日)(予定)
自衛官候補生			年間を通じて実施しております
防衛大学校	推 薦	18歳以上21歳未満の者 高卒者(見込含)又は高専3年次修了(見込含)で成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を修め学校長が推薦できる者	9月5日~9月9日(予定)
	総合選抜	18歳以上21歳未満の者(自衛官は23歳未満)高卒者(見込含)又は高専3年次修了(見込含)	9月5日~9月9日(予定)
	一 般		7月1日~10月17日(予定)
防衛医科大学校医学科学生		18歳以上21歳未満の者 (自衛官は23歳未満)高卒者(見込含)又は高専3年次修了(見込含)	7月1日~10月9日(予定)
防衛医科大学校看護学科学生			7月1日~10月2日(予定)
陸上自衛隊高等工科学校生徒	推 薦	男子で中卒(見込含)17歳未満の成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を修め学校長が推薦できる者	10月1日~11月29日(予定)
	一 般	男子で中卒(見込含)17歳未満の者	10月1日~1月16日(予定)
貸費学生		大学の理学部、工学部の3・4年次又は大学院(専門職大学院を除く。)修士課程在学(正規)の修業年限を終わる年の4月1日現在で26歳未満(大学院修士課程在学者は28歳未満)	6月1日~11月22日(予定)
予備自衛官補	一 般	18歳以上34歳未満の者(上限年齢が引き上げになる可能性があります。)	1月22日~4月11日(予定) 6月1日~9月19日(予定)
	技 能	18歳以上で国家免許資格等を有する者(資格により年齢上限は53歳未満~55歳未満)	1月22日~4月5日(予定) 6月1日~9月19日(予定)

※ 種目、資格、受付期間は、令和5年12月1日現在のものであり、詳しくは最寄りの募集事務所にお問い合わせください。

最寄りの募集事務所

令和6年1月1日現在

隊	事務所名	所在地	電話番号
北東地区隊	茨木地域事務所	大阪府茨木市西駅前町2-10 向井ビル3階	072-623-5250
	豊中募集案内所	大阪府豊中市玉井町1-3-12 トキワビル1階	06-6843-8400
	守口出張所	大阪府守口市京阪本通2-5-5 守口市役所7階	06-6997-7339
	東大阪地域事務所	大阪府東大阪市下小阪2-14-16 天正八戸ノ里ビル202号室	06-6272-2650
	八尾分駐所	大阪府八尾市空港1-81 陸上自衛隊八尾駐屯地内	072-949-3866
中央地区隊	ナンバ募集案内所	大阪市中央区難波4-4-1 難波駅前4丁目ビル地下1階	06-6649-1037
	梅田募集案内所	大阪府大阪市北区芝田2-1-21 高橋ビル2階	06-6375-8226
	十三募集案内所	大阪府大阪市淀川区新北野1-8-14 千代田ベル十三ビル3階	06-6301-0488
	京橋募集案内所	大阪府大阪市都島区東野田町2-9-12 松和京橋第3ビル2階	06-6353-6970
	ミナミ募集案内所	大阪府大阪市中央区難波1丁目虹のまち3-8 なんばウォーク2番街北通り	06-6213-5070
	谷九募集案内所	大阪府大阪市中央区谷町9-4-5 新谷九ビル3階	06-6762-4075
	天王寺募集案内所	大阪府大阪市天王寺区堀越町アベノ地下街6号	06-6772-5070
	阿倍野出張所	大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋3-10-1 あべのベルタ2階	06-6645-1645
阪南地区隊	堺出張所	大阪府堺市堺区中瓦町2-1-17 駿河屋ビル1階	072-232-1026
	岸和田地域事務所	大阪府岸和田市土生町5-1-34 プリマードビル1階	072-426-0902
	富田林地域事務所	大阪府富田林市甲田1-7-2 富田林法務総合庁舎3階	0721-24-3799



自衛隊大阪地方協力本部募集課
所在地: 大阪府大阪市中央区大手前4-1-67
電話番号(代表): 06-6942-0542

